

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2012年3月期 第3四半期決算の概要

2012年2月13日

オリンパス株式会社

取締役執行役員 コーポレートセンター 副センター長
川又 洋伸

- 1. 10－12月期は、医療事業を中心に事業活動は堅調**
- 2. 年間の売上高、営業利益も、為替、震災、タイの洪水影響等を吸収し前年水準まで回復**

I. 2012年3月期 第3四半期(10～12月) 連結業績および事業概況

2012年3月期 第3四半期 ①連結業績

(単位:億円)	2011年3月期		2012年3月期		前年同期比		特殊要因調整後(*)	
	3Q (10-12月)	3Q累計 (4-12月)	3Q (10-12月)	3Q累計 (4-12月)	3Q比	3Q累計比	前年 3Q比	前年3Q 累計比
売上高	2,067	6,240	2,101	6,247	+2%	+0%	+8%	+7%
営業利益 (営業利益率)	97 (4.7%)	320 (5.1%)	84 (4.0%)	260 (4.2%)	△13%	△19%	+21%	+20%
経常利益 (経常利益率)	76 (3.7%)	269 (4.3%)	55 (2.6%)	150 (2.4%)	△27%	△44%		
四半期純損益 (純利益率)	20 (1.0%)	58 (0.9%)	△8 (-)	△331 (-)	-	-		
【為替レート・影響額】					(差異)			
円/US\$	83円	87円	77円	79円	△5円	△8円		
円/Euro	112円	113円	104円	111円	△8円	△3円		
売上高への影響額	-	-	△70	△201				
営業損益への影響額	-	-	△24	△43				

(*)「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」「タイ洪水」の影響を除いた前年同期比

【第3四半期(10-12月期)のポイント】

- ✓ 売上高は、為替、タイ洪水等の影響を吸収し+2%、特殊要因調整後(*)では+8%増収と堅調推移
- ✓ 営業利益は、円高等により減益となったものの、特殊要因調整後(*)では+21%と、実質ベースでは大幅な増益
- ✓ 四半期純損失は、過年度決算訂正関連費用の特別損失への計上や繰延税金資産取り崩し等が影響

2012年3月期 第3四半期 ②セグメント別業績

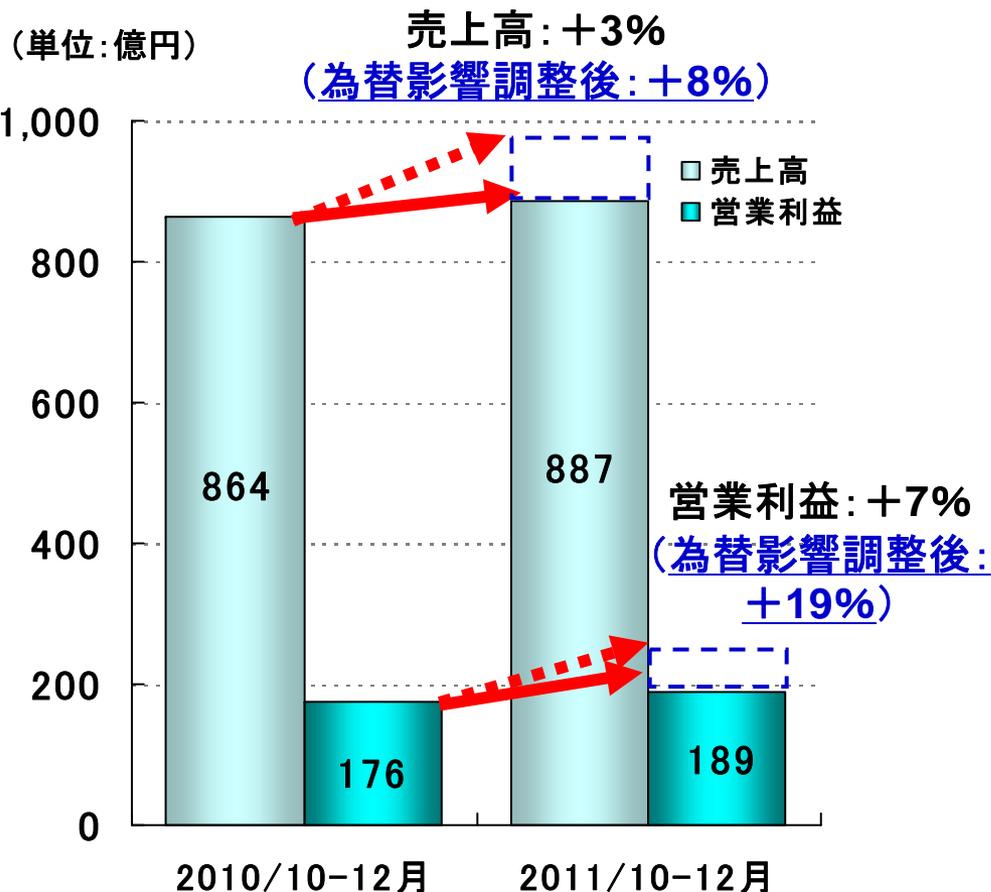
為替やタイ洪水等の影響を除くと、実質的には、ほぼ全分野で増収

(単位: 億円)		2011年3月期		2012年3月期		前年同期比		特殊要因 調整後(*)	
		3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
医療	売上	864	2,618	887	2,525	+3%	△4%	+8%	+5%
	営業利益	176	538	189	472	+7%	△12%	+19%	+9%
ライフ・ 産業	売上	234	708	211	659	△10%	△7%	+1%	+11%
	営業利益	16	44	0	35	△100%	△21%	△80%	+44%
映像	売上	348	1,030	337	1,048	△3%	+2%	+15%	+11%
	営業損失	△ 43	△ 77	△ 36	△ 38	-	-	-	-
情報通信	売上	498	1,522	548	1,640	+10%	+8%	+10%	+8%
	営業利益	7	35	8	36	+17%	+1%	+17%	+1%
その他	売上	123	362	118	374	△4%	+3%	△3%	+4%
	営業利益	△ 3	△ 21	△ 18	△ 52	-	-	-	-
全社・ 消去	売上	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 56	△ 199	△ 59	△ 193	-	-	-	-
連結 合計	売上	2,067	6,240	2,101	6,247	+2%	+0%	+8%	+7%
	営業利益	97	320	84	260	△13%	△19%	+21%	+20%

(*)「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」「タイ洪水」の影響を除いた前年同期比

2012年3月期 第3四半期(10~12月) ③医療事業

- 一連の損失先送りによる、ビジネスへの大きな影響は見られず、
引き続き堅調に推移
- 内視鏡、外科・処置具ともに新製品投入に向け開発は順調に進捗



【新製品の状況】

- ✓ 外科内視鏡は、10月の国内での導入を皮切りに、欧米市場でも順調に推移。
- ✓ エネルギーデバイスの新製品は、計画通り今期中投入予定。

超音波凝固切開デバイス(高切開能力)



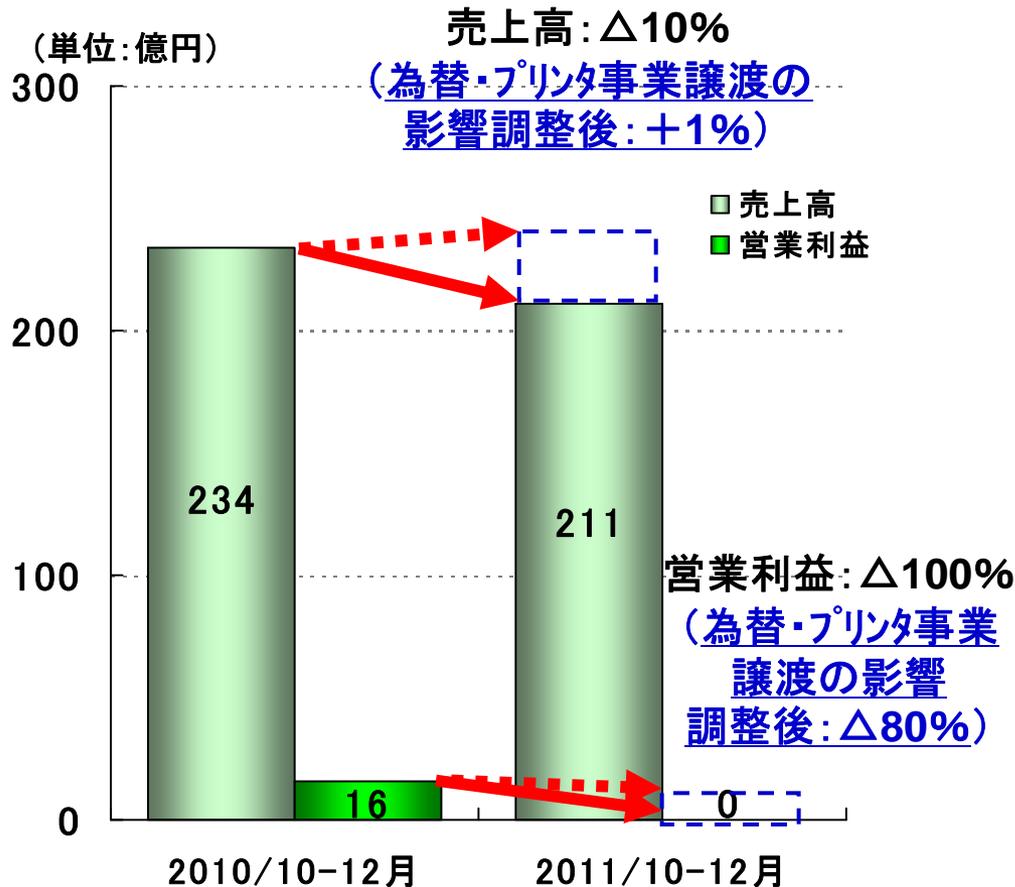
バイポーラシーリングデバイス(止血能力)



- ✓ 主力の消化器内視鏡新製品は、来期の投入に向け順調に進捗。

2012年3月期 第3四半期(10~12月) ④ライフ・産業事業

- 特殊要因を除く実質ベースでは増収となり、安定的に推移
- 産業分野では、社会インフラ等の業界で非破壊検査装置の需要が好調



【新製品の状況】

- ✓ **工業用顕微鏡**では、**光学技術とデジタル技術**を融合し、**業界初のタッチパネル**を搭載した新製品を1月に発売。「光学顕微鏡の信頼性」と「デジタルマイクロ스코プの操作性」の両立を実現。



(↑「オプトデジタルマイクロSCOプ DSXシリーズ」)

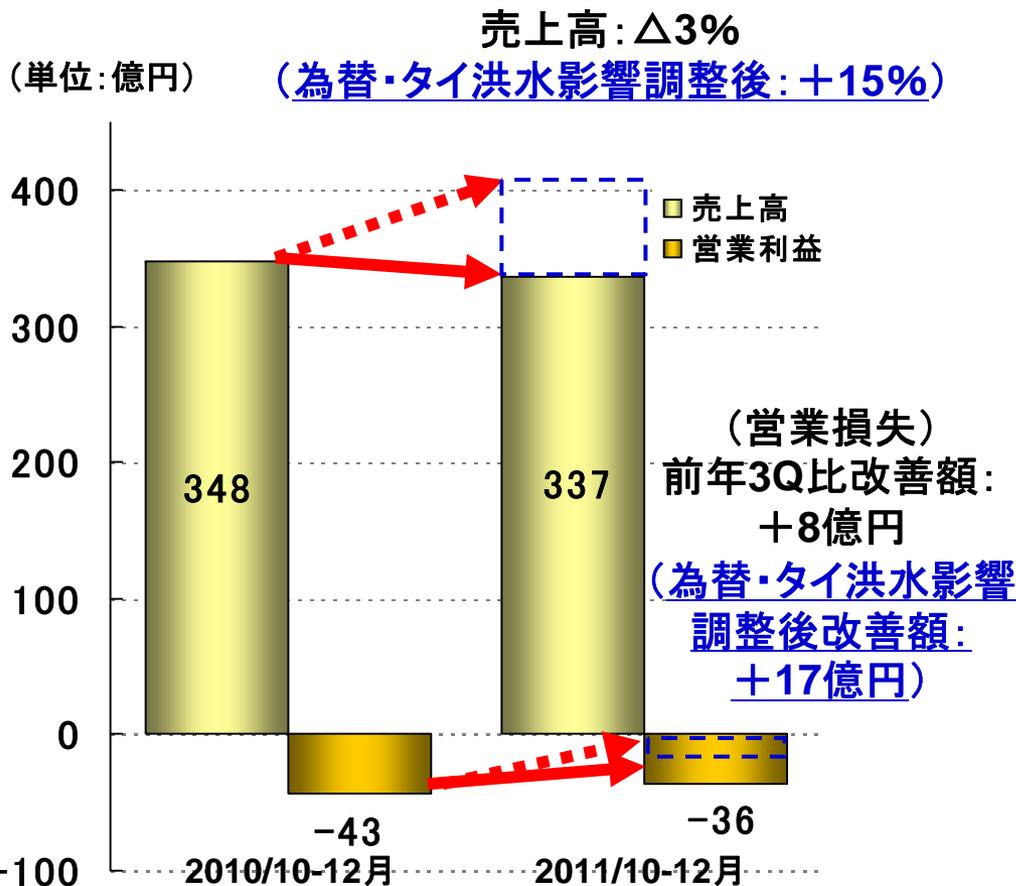
- ✓ **工業用内視鏡**は、当社初のハンディタイプを1月に発売。シリーズ**最小・最軽量**で上位機種並の**画質と耐久性**を実現。



(↑「IPLEX UltraLite」)

2012年3月期 第3四半期(10~12月) ⑤映像事業

- タイ洪水の影響等で減収減益となったものの、マイクロ一眼「PENシリーズ」は国内・アジアを中心に好調。高付加価値コンパクトも欧州・アジアで好調
- 2011年の「BCNランキング」では、ミラーレス一眼分野で年間1位を獲得



【新製品の状況】

- ✓ マイクロ一眼の新シリーズ「OM-D」を3月下旬に発売予定。ミラーレス市場初の防塵・防滴性能を備え、当社初の高性能電子ビューファインダーを内蔵。世界最速AFや画質など基本性能もさらに向上。

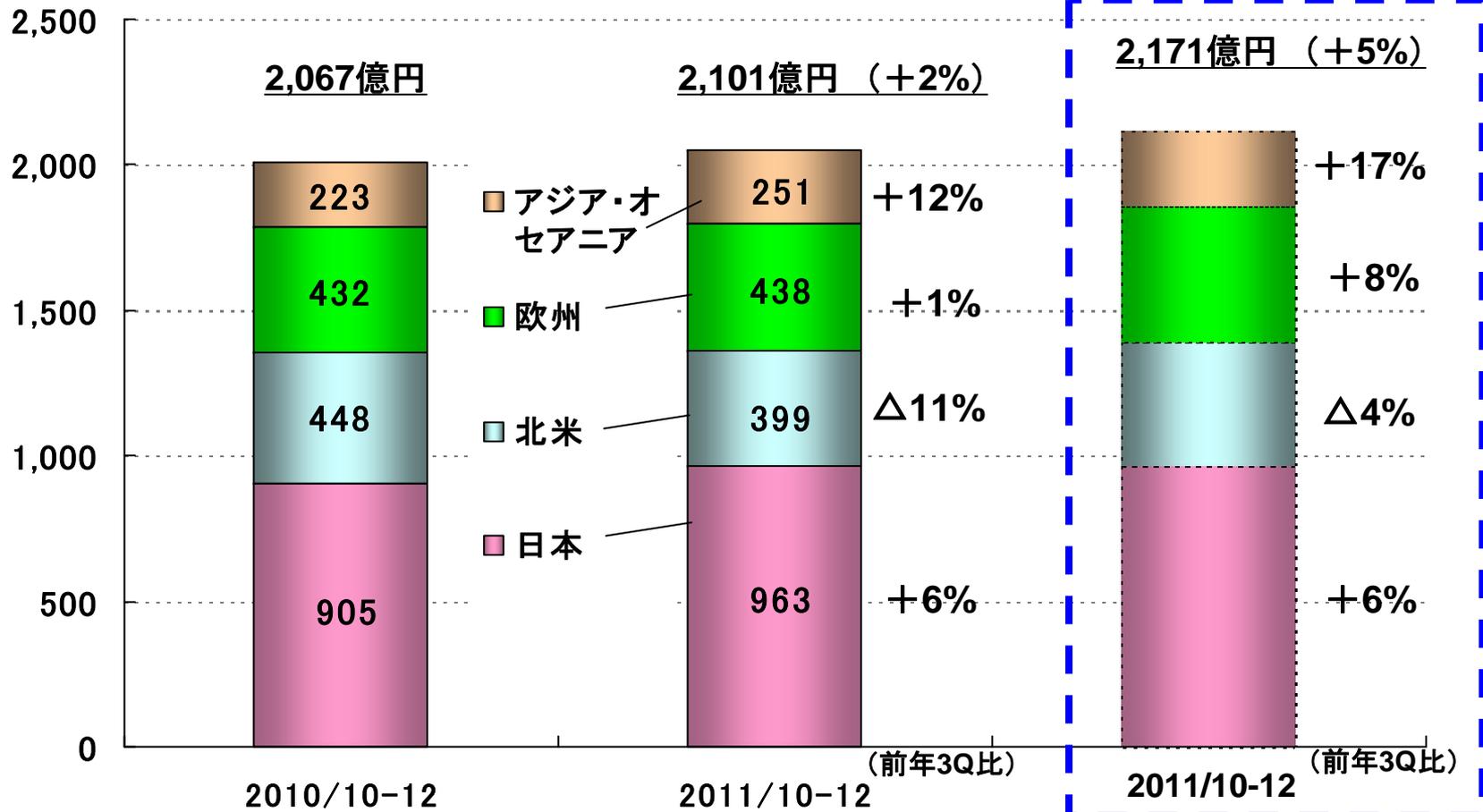


- ✓ コンパクトでは、マイクロ一眼と同様の画像処理技術を搭載した、高感度・低ノイズ・高速オートフォーカス等を実現した新製品を順次複数機種、今春投入予定。

2012年3月期 第3四半期(10~12月) ⑥仕向地別売上高

- 日本、アジアを中心に好調に推移
- 欧州では、マクロ経済環境が悪化する状況下でも医療中心に全分野で伸長

(単位: 億円)



貸借対照表(2011年12月末)

(単位:億円)

	2011年 9月末	2011年 12月末	増減		2011年 9月末	2011年 12月末	増減
流動資産	5,243	5,076	△167	流動負債	3,123	2,917	△206
(デジカメ在庫)	(231)	(203)	(△28)				
有形固定資産	1,224	1,225	+1	固定負債	5,929	5,941	+12
無形固定資産	1,888	1,895	+7	(内:社債・長期借入金)	(5,421)	(5,400)	(△21)
投資その他資産	1,157	1,099	△57	純資産	460	438	△22
				(自己資本比率)	(4.5%)	(4.4%)	
資産合計	9,512	9,296	△216	負債 純資産合計	9,512	9,296	△216

有利子負債 : 6,368億円(△284億円)

純有利子負債 : 4,353億円(+32億円)

キャッシュフローの状況(4-12月)

(単位:億円)

	2011年3月期 (4-12月)	2012年3月期 (4-12月)	増減
売上高	6,240	6,247	+6
営業利益	320	260	△61
(%)	5.1%	4.2%	-
営業CF	157	276	+118
投資CF	16	△261	△277
財務CF	△296	△51	+245
キャッシュフロー	△122	△36	+86
フリーキャッシュフロー	173	14	△159
有利子負債	6,518	6,368	△150
現預金	1,881	2,015	+134
減価償却費	238	248	+10
のれん償却額	91	95	+5
設備投資額	216	239	+23

II. 2012年3月期 見通し

2012年3月期 連結業績見通し

(単位:億円)	2011年 3月期(実績)	2012年 3月期(見通し)	前期比 (%)	特殊要因 調整後(*)
売上高	8,471	8,540	+1%	+8%
営業利益 (営業利益率)	384 (4.5%)	360 (4.2%)	△6%	+38%
経常利益 (経常利益率)	232 (2.7%)	210 (2.5%)	△10%	
当期純損益 (当期純利益率)	39 (0.5%)	△320 (-)	-	
【為替レート・影響額】			(差異)	
円/US\$	86円	79円	△7円	
円/Euro	113円	108円	△5円	
売上高への影響額	-	△277		
営業損益への影響額	-	△61		

(*)「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」「タイ洪水」の影響を除いた前年同期比

- ✓売上高は増収の見通し。為替、震災、タイの洪水影響等を吸収し、前年を上回る水準まで回復。
- ✓営業減益の主な要因は、為替の影響に加え、震災、プリンタ事業譲渡、タイ洪水等の影響。これらを除く実質ベースでは増益。
- ✓当期純損失は、映像セグメントの減損損失の特別損失計上等に加えて、繰延税金資産の取り崩しを含む法人税等の計上の影響

2012年3月期 セグメント別見通し

為替や震災等の影響を除くと、実質ではほぼ全分野で増収増益

(単位:億円)		2011年3月期		2012年3月期 (見通し)		前年同期比		特殊要因 調整後(*)	
		4Q (1-3月)	通期	4Q (1-3月)	通期	4Q (1-3月)	通期	4Q (1-3月)	通期
医療	売上	935	3,553	945	3,470	+1%	△2%	+6%	+6%
	営業利益	179	717	218	690	+22%	△4%	+31%	+14%
ライフ・ 産業	売上	300	1,008	271	930	△10%	△8%	+6%	+9%
	営業利益	41	86	30	65	△27%	△24%	△1%	+22%
映像	売上	284	1,314	342	1,390	+20%	+6%	+44%	+18%
	営業利益	△73	△150	△52	△90	-	-	-	-
情報通 信	売上	573	2,095	610	2,250	+6%	+7%	+6%	+7%
	営業利益	17	52	24	60	+43%	+14%	+43%	+14%
その他	売上	138	500	126	500	△9%	0%	△10%	0%
	営業利益	△15	△36	△43	△95	-	-	-	-
全社・ 消去	売上	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△86	△285	△77	△270	-	-	-	-
連結 合計	売上	2,231	8,471	2,293	8,540	+3%	+1%	+10%	+8%
	営業利益	63	384	100	360	+58%	△6%	+127%	+38%

(*)「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」「タイ洪水」の影響を除いた前年同期比

III. 今後の主なスケジュールについて

今後の予定と臨時株主総会について

(2012年)

- 2月20日 臨時株主総会基準日**
- 4月20日 臨時株主総会**
- 5月前半 2012年3月期決算発表**
- 6月後半 定時株主総会**

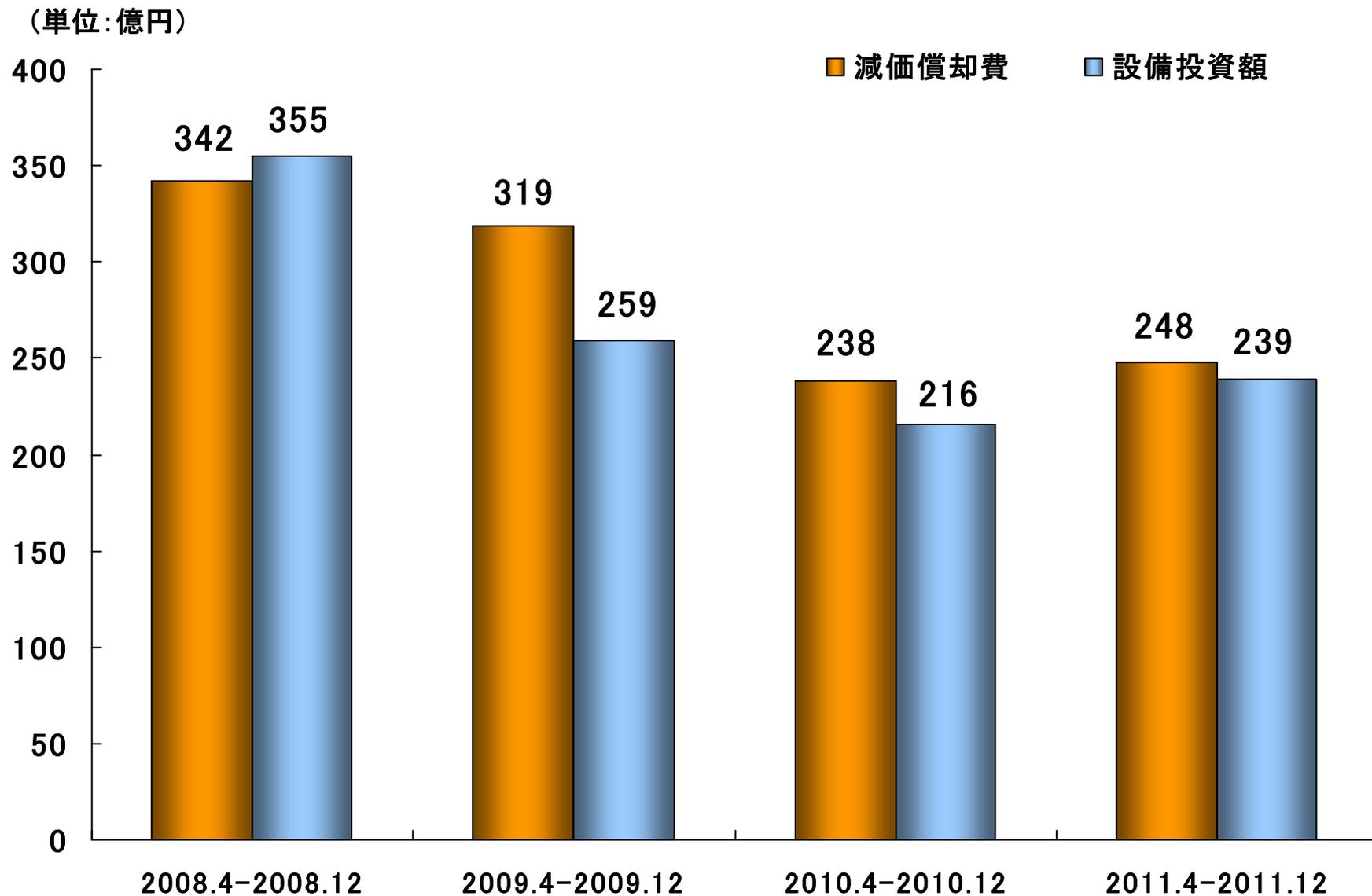
OLYMPUS

参考資料

2012年3月期 見通し セグメント別 特殊要因影響額

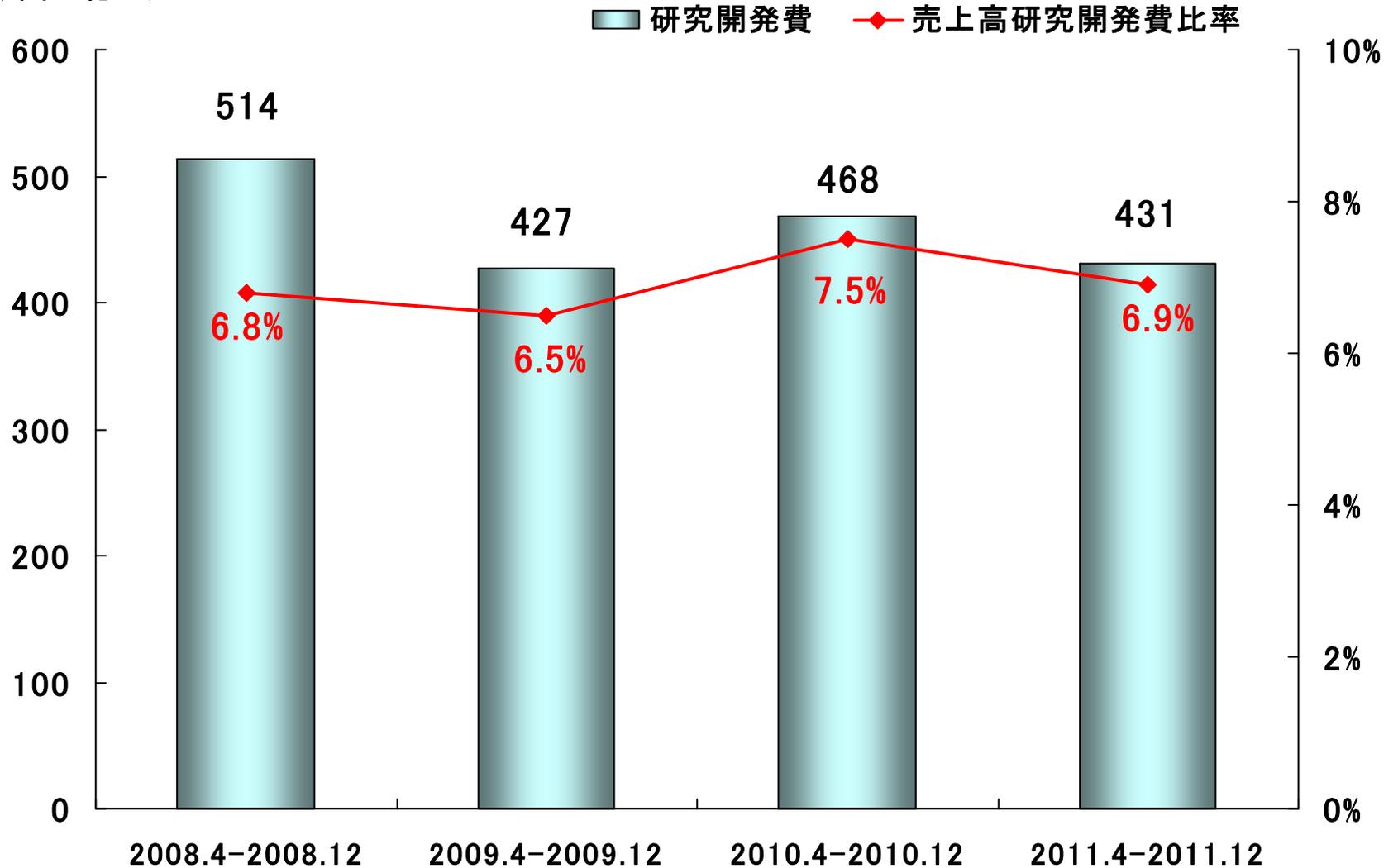
		為替影響額	震災影響額	プリンター事業 譲渡影響額	タイ洪水 影響額
医療	売上	△172億円	△110億円	—	—
	営業利益	△71億円	△60億円	—	—
ライフ・産業	売上	△47億円	△30億円	△96億円	—
	営業利益	△21億円	△10億円	△9億円	—
映像	売上	△56億円	—	—	△100億円
	営業利益	+24億円	—	—	△30億円
情報通信	売上	—	—	—	—
	営業利益	—	—	—	—
その他	売上	△1億円	—	—	—
	営業利益	+4億円	—	—	—
連結合計	売上	△277億円	△140億円	△96億円	△100億円
	営業利益	△61億円	△70億円	△9億円	△30億円

設備投資・減価償却費



研究開発費

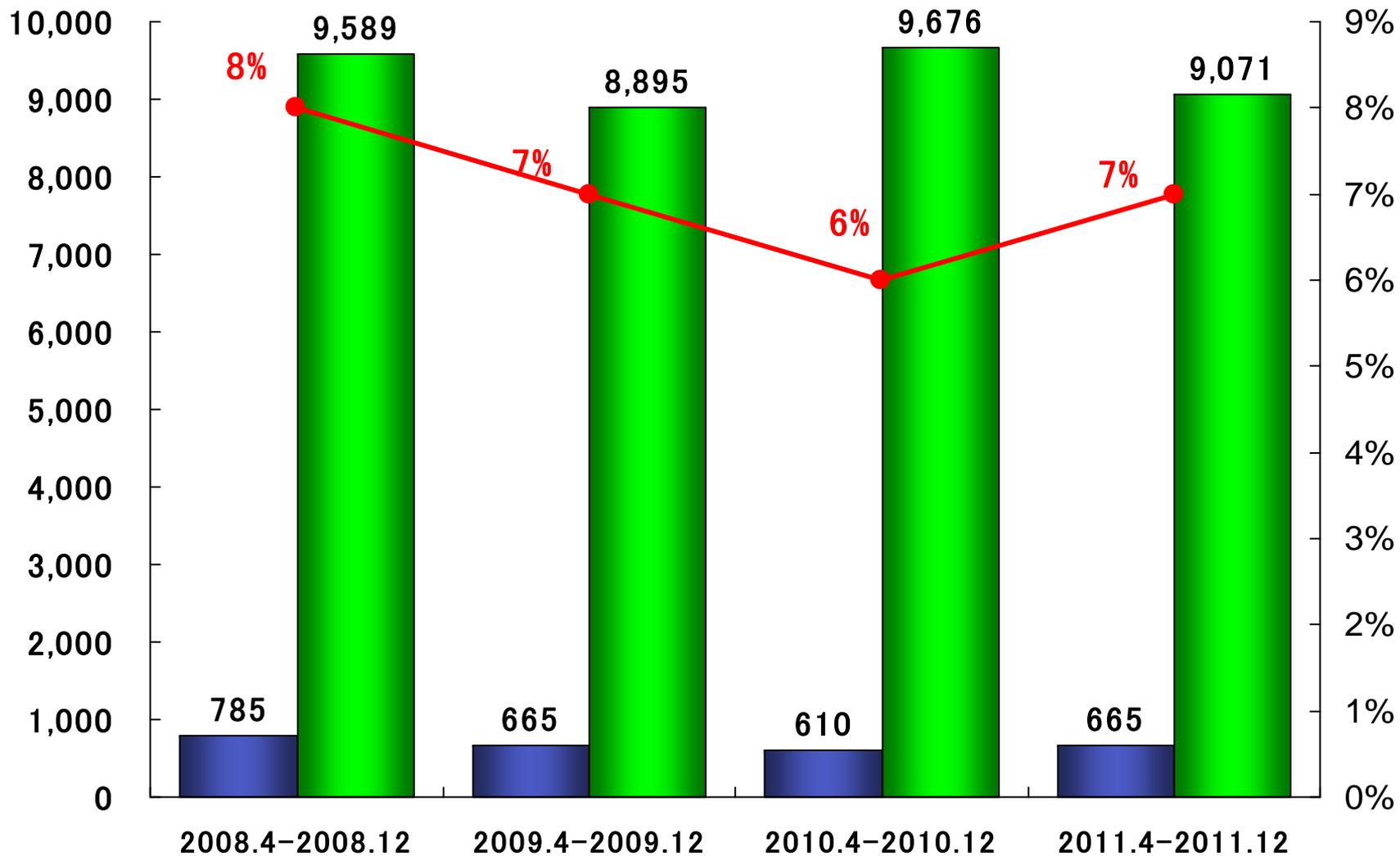
(単位:億円)



デジタルカメラ

(単位:万台)

■ Olympus ■ WW ● 台数シェア



本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。